

安全就業ニュース

公益社団法人全日本シブシブセンター 事業協会



すべての災害は
防ぐことができる

★今月の事故から★

1. 事故の概要（就業中6ヶ月以上の入院）

伐木作業中に、切った木が掛かり木となり、それを取ろうとしてさらに根元を切ったところ、切った木が跳ね返り、会員の逃げたところに直撃してしまい、腰の骨の骨折、内出血、出血性ショックにより死亡した。

2. 事故の原因

現場は、緩やかな斜面にあったことに加え、切った木の枝等が散乱しており、足場が悪かったこと、危険を伴うような大きな木があったことが主な原因となった。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センターの事故後の対応】

- 事故の発生を受けて臨時の理事会を開催し、事故に関する説明を事務局より行った。
- また、一連の作業状況から、安全就業をはじめ、作業別のマニュアルの整備を行うため、安全・適正就業委員会を計2回開催し、整備内容について検討を行った。

【センターの再発防止策】

- 各種マニュアルの整備（安全就業・剪定（チェーンソー、伐木）・刈払い）
- 整備を行ったマニュアルの周知（全会員へ配付）
- 作業を行うにあたり、安全に作業ができる環境か、危険性はないか、手順や方法は適切か、を確認。就業に伴う事故を未然に防ぐために、整備したマニュアルを元に再発防止に努めたい。

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

- 事故概要について全センターへ周知を行った。
- 事故現場視察及び、安全・適正就業委員会での注意喚起を行った。

4. 全シ協から

今月の事故は、伐木作業における事故です。今年度は、このほかに3件の同様の重篤事故が発生していますので、以下の安全対策を実施していただいた上で、請け負ってください。

伐木作業で気をつける点については、①現場確認の上、樹高、樹木周辺の環境等を確認して受注及び事務局による現場確認、②講習受講の確認、③使用する機械の整備、④複数人での作業、⑤作業手順及び注意事項の作成、⑥保護帽・保護衣の着用、⑦作業当日の現場パトロールなどを徹底して実施してください。安全が確保できない場合には、請け負うことはしないでください。

今一度、各センターにおいて、会員の皆さんが安全、安心して就業できる環境（作業基準の見直しなど）をご検討ください。※安全就業の手引 第六訂版 P152～158をご参考にしてください。

令和4年2月（令和3年度）事故速報

(1) 重篤事故

2月は、7件の重篤事故報告がありました。2月までの累計で比較してみると、令和2年度の39件と比べて令和3年度は35件と4件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の26件と比べ24件と2件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の13件と比べ11件と2件の減少となっています。

2月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	24(6)	18(5)	6(1)	24(6)	0(0)	就業中	26	14	12	26	0	
就業途上	11(1)	5(0)	6(1)	8(1)	3(0)	就業途上	13	12	1	7	6	
計	35(7)	23(5)	12(2)	32(7)	3(0)	計	39	26	13	33	6	



前年度比 90.0% ()は、当月報告分です。

※注1月報告分のNo.25の就業途上での事故につきましては、死亡ではなく入院の誤りでした。お詫び申し上げます。

2月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
29	男 71歳	就業中 (入院)	林道に飛び出していた枝を取り除くため、斜面に面した樹木に梯子をかけ、重さ約4kgのエンジンチェーンソーを使用して作業を行った。作業中は1名会員が梯子の下半分をおさえていた。梯子から高さ5m下(梯子高2m・斜面高3m程)に墜落、その後約10m斜面を滑落した。頸椎脱臼骨折、頸髄損傷、四肢麻痺。	×	×	—
30	男 86歳	就業中 (死亡)	清掃作業中、2階廊下で倒れているところ発見された。転倒の際、頭部を打撲した模様。診断では何の問題もなかったが、その日の夜に急性硬膜下血種 脳挫傷により死亡した。	—	—	—
31	男 83歳	就業中 (死亡)	剪定作業中、高低2台の脚立をロープで固定し、高い方から低い方へ移動する際にバランスを崩して転落。肩・腰・膝を強打し入院。後日、膝を手術中、脚の部分にできた血栓が肺に飛び死亡した。	○	×	—

32	男 71歳	就業中 (死亡)	草刈作業中、自分の持ち場に行くため既に作業していた会員の左側を通過する際、刈刃が左太ももに当たり負傷。すぐに病院に搬送したが、外傷性出血により死亡した。	×	—	—
33	男 78歳	就業途上 (入院)	就業途上、車窓が曇っていたため、車を道路端に停車して車窓の拭き作業をしていたところに後方から車が追突してきた。首の頸椎損傷。	—	—	徒歩
34	男 81歳	就業中 (死亡)	家屋とフェンスの間の狭い場所の除草を行うため同現場で作業中であった植木班の四脚脚立を用いてフェンス外側から固定せずに脚立を上りフェンスを跨いで乗り越えようとしたところ、フェンスの向こうに転落し、頭部、頸部を地面に打ち付け、頸髄損傷で死亡した。	—	—	—
35	男 69歳	就業中 (死亡)	伐木作業中に切った木が掛り木となり、それを取ろうとして根元を切ったところ切った木が跳ね返り会員さんに木が直撃してしまい、腰の骨の骨折、出血性ショック死により死亡した。	○	—	—

生きがいづくりでいつまでもこころ豊かに

幸せに長生きする秘訣は、たとえ体が衰えても、いまを楽しみ穏やかな気持ちで過ごしていくこと。こころの持ちようを変えて健康長寿を育みましょう！

豊かなこころ、ウェル・ビーイングをめざすために大切にしたい4つのこと

好奇心

新しいことに臆せずチャレンジします。その姿勢が、喜びに敏感でしなやかな脳を育ててくれます。

目標

何か目標を持ってコツコツ取り組みましょう。自分ならできる！と信じる力が大切。健康習慣も続けられます。

笑顔

笑顔は笑顔を招きます。人間関係もまあるくなり、助け合いの関係が自然につくられていきます。

感性

読書、映画鑑賞、芸術鑑賞、書道など趣味を持っていることも大切。感性を磨けば頭も元気になり、毎日がイキイキします。

身の丈であるがままで幸せに 歳を重ねるほど老年的超越のステージへ

- ◎ 全ての人にありがとう
- ◎ 過去の人生を肯定できる
- ◎ ありのままの自分を愛おしく思う
- ◎ 1人でも孤独感がない

(出所 社会保険出版社 「健康長寿カレンダー」より抜粋)

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

2月は、就業中の事故14件、就業途上の事故9件と、合計23件であり、昨年度同月の13件と比して10件の増加となっています。また、男女別では、男性は1件の増加となっており、女性は9件の増加となっています。

2月までの累計で比較してみると、昨年度の221件と比して、本年度は247件と26件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は183件で21件の増加となっており、就業途上は64件で5件の増加となっています。男女別では、男性は2件の増加となっており、女性は24件の増加となっています。

令和3年度2月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		2月	累計	2月	累計	2月	累計	2月	累計	
就業中	植木・樹木の剪定等	4(4)	68(72)	4(4)	68(71)	0(0)	0(1)	71	74	
	除草作業	1(1)	40(27)	0(1)	34(23)	1(0)	6(4)	68	74	
	屋内・屋外清掃作業	5(2)	34(34)	1(0)	11(16)	4(2)	23(18)	76	74	
	その他	4(2)	41(29)	3(1)	30(22)	1(1)	11(7)	77	76	
	計	14(9)	183(162)	8(6)	143(132)	6(3)	40(30)	74	74	
就業途上	交通手段	徒歩	5(0)	20(16)	0(0)	5(8)	5(0)	15(8)	75	77
		自転車	3(4)	25(32)	2(3)	11(22)	1(1)	14(10)	74	77
		バイク	0(0)	10(9)	0(0)	6(5)	0(0)	4(4)	—	74
		自動車	1(0)	9(2)	0(0)	6(2)	1(0)	3(0)	74	73
		計	9(4)	64(59)	2(3)	28(37)	7(1)	36(22)	75	76
合計		23(13)	247(221)	10(9)	171(169)	13(4)	76(52)	74	74	

()は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

4

12月は仕事の型別では、「清掃の職業」「その他の運搬・清掃・梱包等の職業」3件、「社会福祉の専門的職業」2件「その他サービスの職業」「商品販売の職業」「自動車運転の職業」1件であり、合計11件でした。前年同月の17件と比較して6件の減少となっています。

12月までの累計で比較してみると、昨年度の90件と比して、6件の増加となっています。

また、男女別では、男性は48件で1件の減少となっており、女性は48件で7件の増加となっています。

なお、12月に死亡事故はありませんでした。

令和3年度12月分

仕事の型（中分類）	中分類コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		12月	累計	12月	累計	12月	累計	12月	累計
建築・土木・測量技術者	9	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	74
社会福祉の専門的職業	16	2 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (0)	73	75
教育の職業	19	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	72
商品販売の職業	32	1 (0)	5 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (0)	82	71
販売類似の職業	33	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
営業の職業	34	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
家庭生活支援サービスの職業	35	0 (3)	10 (10)	0 (0)	2 (1)	0 (3)	8 (9)	—	69
介護サービスの職業	36	0 (0)	0 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	—	—
保健医療の職業	37	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	—	—
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
飲食物調理の職業	39	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	—	74
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (2)	2 (2)	0 (2)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	—	78
その他のサービスの職業	42	1 (0)	6 (1)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (1)	73	73
農業の職業	46	0 (0)	4 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (0)	—	72
生産設備制御・監視の職業 (金属材料製造)	49	0 0	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
製品製造・加工処理の職業	54	0 (2)	2 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (7)	—	73
機械組立の職業	57	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	78
製品検査の職業	62	0 0	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
自動車運転の職業	66	1 (1)	3 (2)	1 (1)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	72	68
建設の職業	71	0 0	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
採掘の職業	74	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	70
運搬の職業	75	0 (2)	4 (4)	0 (2)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	—	70
清掃の業務	76	3 (2)	16 (18)	3 (1)	7 (11)	0 (1)	9 (7)	77	75
包装の職業	77	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	—	75
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	3 (4)	31 (33)	1 (3)	23 (24)	2 (1)	8 (9)	70	72
計	—	11 (17)	96 (90)	7 (9)	48 (49)	4 (8)	48 (41)	74	72

()は令和2年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害（休業日数4日以上又は死亡）」、「派遣労働会員の通勤災害（休業日数4日以上又は死亡）」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害（業務・通勤ともに）が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

★ 安 全 リ シ ー ★

栃木県における安全就業の取組み

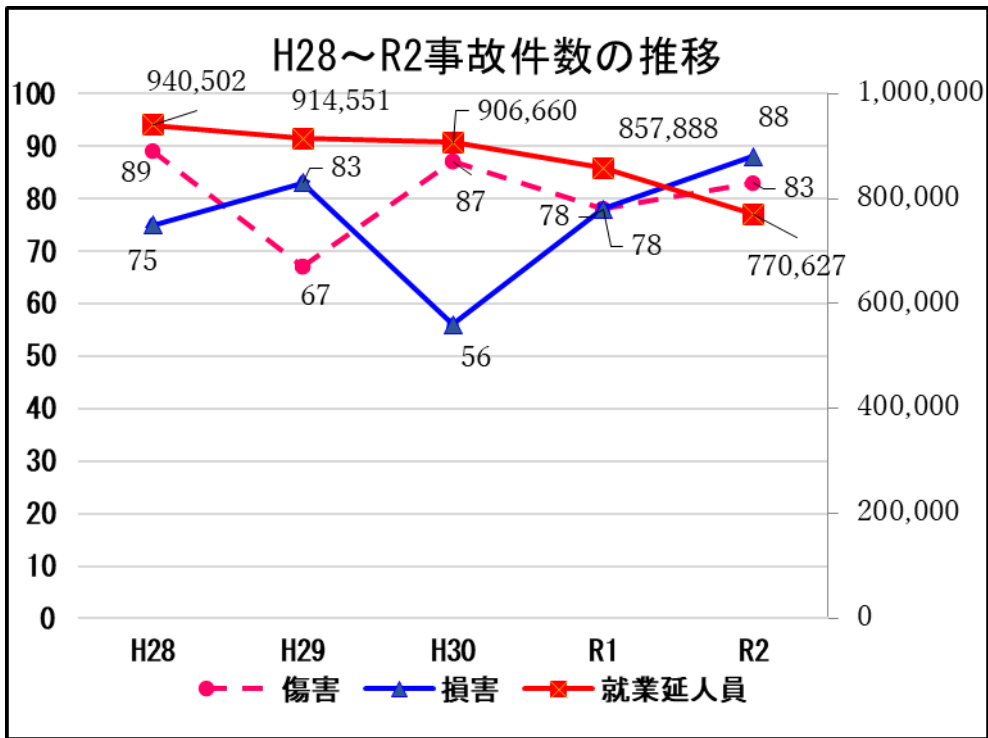
1 栃木県シルバー人材センター連合会の概要（令和3年3月31日現在）

- (1) センター数 25団体
- (2) 会 員 数 9,254人 男性6,348人 女性2,906人
- (3) 受注金額 4,749百万円（うち派遣562百万円）
- (4) 契約件数 57,904件（うち派遣695件）
- (5) 就業延人員 864,279人日（うち派遣93,652人日）
- (6) 粗入会率 1.3%
- (7) 就 業 率 80.7%（請負）、66.4%（派遣）

2 県内事故発生状況（請負）

(1) 過去5年の事故発生状況

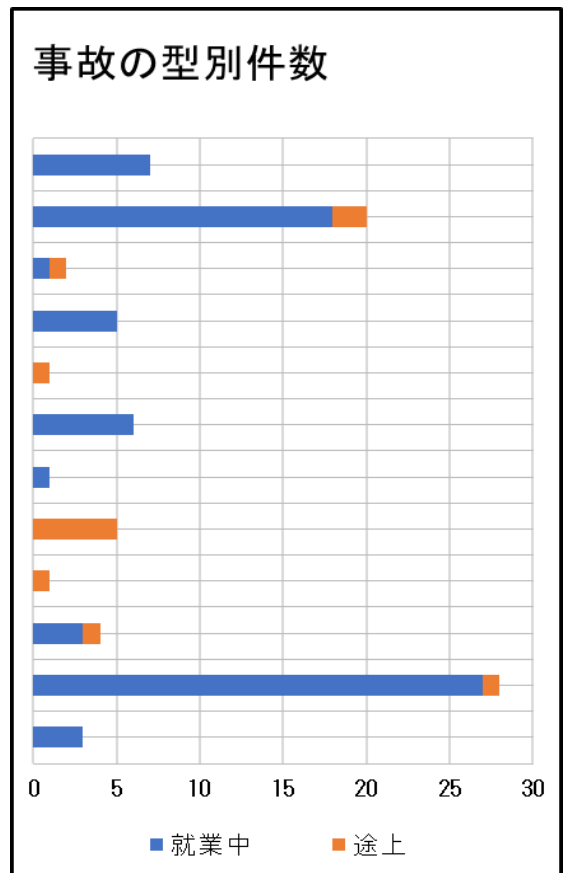
年度	傷害事故件数（）内は死亡事故件数			損害事故 発生件数	就業延人員 （人日）
	就業中	就業途上	合計		
H28	77	12	89	75	940,502
H29	60 (1)	7 (1)	67 (2)	83	914,551
H30	80 (1)	7	87 (1)	56	906,660
R1	75	3	78	78	857,888
R2	71 (1)	12 (1)	83 (2)	88	770,627



6

(2) 傷害事故における事故の型別件数 (R2)

件数	就業途上別		事故の型
	就業中	途上	
7	7		墜落、転落
20	18	2	転倒
2	1	1	激突
5	5		飛来、落下
1		1	激突され
6	6		切れ、こすれ
1	1		有害物等との接触
5		5	交通事故 (道路)
1		1	交通事故 (その他)
4	3	1	動作の反動、無理な動作
28	27	1	蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ
3	3		その他
83	71	12	合計



(3) 損害事故発生件数 (R2)

件数	事故の型
47	飛散させた物で損壊



23	器具・用具を接触させて損壊
4	落下させて損壊
5	倒したり、ぶついたりして損壊
1	汚損・変質
1	自動車・機械・用具等の誤作動
2	運搬・搬出中に損壊
5	その他の就業中の損壊
88	合計

(4) 令和3年度重篤事故発生状況

ア 墜落による死亡

- ① 会員 79歳 男性
- ② 就業中の事故 植木剪定
三脚からコンクリートの地面に墜落
- ③ 死因 重症頭部外傷
- ④ 安全用具の装着 安全帽着用無 安全帯着用無

7

イ 墜落によるケガ

- ① 会員 71歳 男性
- ② 就業中の事故 枝払い
脚立兼ハンゴから墜落・転落
- ③ 診断名 頸椎脱臼骨折・頸椎損傷、四肢麻痺
- ④ 安全用具の装着 安全帽着用無 安全帯着用無 足場不安定 高所

上記2件について、連合会は当該センターに対し、事故防止に対する必要な助言と指導を行うとともに、各センターあて事故防止の徹底を周知した。

3 主な安全就業への取り組み

(1) 安全・適正就業委員会の開催

県内3地区（県北・県央・県南）から各2名のセンター職員と当連合会事務局長で構成する安全・適正就業委員会を年3回開催しています。今年度は事故発生状況や安全・適正就業ガイドラインの周知状況及び連合会安全・適正就業推進事業について検討を行いました。

(2) 安全就業優良シルバー人材センター表彰

安全就業に係る表彰として連合会表彰基準に基づき該当となった小山市シルバー人材センター及び那須塩原市シルバー人材センターを表彰しました。

(3) 安全・適正就業担当者研修

県内の事故発生が多いことから事故防止を目的に研修を行いました。

中央災害防止協会関東安全衛生サービスセンターから講師を招き、「高齢者就業における墜落・転落・転倒災害の防止対策について」の講義を行っていただきました。

また、令和3年度全シ協安全就業優良シルバー人材センターとして表彰された那須塩原市シルバー人材センターに、「センターの安全就業の取り組みについて」の事例発表していただきました。

(4) 安全・適正就業パトロール指導

安全就業の確認・指導のため、重篤事故が起こったセンターや事故の多いセンターを中心にパトロール指導を行いました。なお、今年度は8センターを対象に計画しましたが、緊急事態宣言の状況等を踏まえ実施を見合わせたことにより、5センターの実施となりました。

(5) 安全就業物品の配付

毎年、安全就業に関する啓発用ポスターや安全就業用物品を配付し、安全意識の啓発と、作業の安全強化を図っています。

今年度は、蜂よけスプレーや保護帽・ポイズンリムーバーを各センターに配付しました。

8

また、新型コロナウイルス感染症対策の長期化を想定し、感染防止対策に係る物品を配付しました。

(6) 会員を対象とした体力測定等の実施

会員、自らが体力や移動能力の現状を把握するとともに、センターがその情報を共有することで、双方の意識の啓発と事故防止を図ることを目的に実施しました。

県南・県央・県北の3地区で開催し、31名が参加しました。

4 今後の安全就業について

「安全は全てに優先する」を念頭に、事故の未然防止のため安全就業に向けた取組を連合会・センター一体となって進めて参ります。

栃木県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
ご報告、誠にありがとうございました。



わが国は世界でも屈指の長寿国となり、元気なシルバー世代が増えています。その健康を維持するために、食事、運動、喫煙、飲酒など生活習慣をみずから管理することが重要な課題となっています。本書をシルバー世代の健康づくりのヒントにして、元気な毎日を過ごしていただければ幸いです。

巻末より

A5判 40 ページ 2009(平成 21)年 2 月発行 以降、増刷対応
 (10 都以上からの販売)
 価格 293 円(税込)、送料実費



編集後記

年明け早々から続いていた蔓延防止等重点措置もやっと全面解除となりましたが、新型コロナウイルス感染症に次々身近な方が罹っていると脅威を感じずにはいられません。その一方で、新規感染者数を聞いても感覚がマヒしていて、東京都の一日の感染者数が5桁か4桁か、最近は5千人以上か以下かで多い少ないかを決めている自分がいます。年明け以降、通勤以外はほとんど家から出ない生活をしていましたが、気温も20℃を超えたと思えば10℃に届かない日もあり、先日は雪まで舞う状況でますます体調管理が重要です。そんな中、気づけば桜の美しい季節となりました。コロナが蔓延しようが寒かろうが暑かろうが、そんなことには関係なく、桜は今年も咲いてくれました。みんなで集まってのお花見は今年もできそうにありませんが、すでに桜は満開。休みの日に近所の桜の名所に一人で出かけひっそり愛でてきました。今年度も「安全就業ニュース」をご愛読いただきましてありがとうございます。目指せ！事故ゼロ!! 来年度も引き続きよろしく願いいたします。(松山)

皆様のご家庭では洗濯機をどのようにまわしていますか？我が家では私と妻の洗濯物を一緒に洗っていましたが、数年前のある日、妻が「私のは気にしないで自分のだけ洗って」と言い出し、私は素直に「洗濯物の量が減ってよかった」くらいに思っていました。これには何か理由が考えました。そういえば妻は頻繁に私の枕カバーを取り替えてたので、もしや臭いからか？と試してみたら「洗濯機が汚いから臭いが出るの」と誤魔化しました。そんなわけでもないのに、あの脂臭？自分もよらないことでショックを受けました。妻が洗濯機を掃除するようになったら、大好きな天麩羅や唐揚げなどもこのような経験はありますでしょうか？心臓病の危険因子である高血圧、高血糖、脂質異常症などを予防するためにも高カロリー食には気を配ってください。因みにまだ洗濯物は別々で

「いつまでも働く喜び 無事故から」安全就業スローガン





価格 2,200円（税込、送料は実費です。
お支払いの振込手数料はご負担いただきます）

本書は、平成2年に初版「シルバー人材センターの安全作業と会員の健康」（安全の手引）としてスタートし、第五改訂版が「安全・適正就業の手引」として編纂されてきたところです。

今回の第六改訂版については、シルバー派遣による就労拡大等の環境の変化を受け、「安全就業の手引」として、適正就業とは切り離してその充実を図った上で、編纂することとしました。

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであります。「改訂版発行にあたって」より抜粋

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。